

# その時の出逢いが……



みきまさお  
須坂市長(長野県) 三木正夫



信州すざか農業小学校豊丘校「親子いっしょの農業小学校」に参加する筆者

## 人との出逢い

「その時の出逢いが その人の人生を根底から変えることがある(詩人、書家・相田みつを)」という詩があります。須坂市は、2月23日から3月21日まで「相田みつを展」を、須坂市出身の村石久二スターツコーポレーション会長のご支援をいただき開催しました。相田みつを美術館には何度か伺っていますが、須坂市内の伝統的建造物3カ所と市内小中学校各校一作品の展示は、作品をより深く、身近に感じるものでした。

市長に就任して、さまざまな方にお逢い

できることは喜びです。「信州岩波講座(岩波書店、信濃毎日新聞社などと共催。2022年度で24回目)」、「富澤一誠プロデュースフォーエバーヤング(フォーエバークンサート。2022年度で15回目)」などによる出演者との出逢い、市長会、提言・実践首長会、活力ある地方を創る首長会議、北前船交流拡大機構、約30年

間の長野県職員時代や、約18年の須坂市長を通じた出逢いにも感謝しています。

本市発祥で長寿県長野の基盤といわれる保健補導員、さらに、食生活改善推進員会、婦人会などの女性ボランティア団体、毎年のように国土交通大臣賞を受賞する地域の花と緑の愛護団体、フルーツハリウッドの愛称を持つ須坂を支える果物農家など、市民との出逢いや交流も楽しいです。私は市長就任以来、「声高の少数意見ではない、声なき声をお聞きする行政」を行ってききました。会合では懇談の中で一人一人の考えをお聞きしています。

## 自然との出逢い

本市には、自宅からほぼ30分で行くことができる雄大な上信越高原国立公園が所在しています。その中の峰の高原には、自



峰の高原原クロスカントリーコース

然に加え、リワイルドニンジャスノーハイランド(通称ニンジャスキー場)、リワイルドゼッケイグランピングリゾート、2022年箱根駅伝出場20校中13校が利用されたクロスカントリーコース、ペンション群があります。クロスカントリーコースは、本格的に走るだけでなく、歩いたり軽く走ったりすることができ、気分転換になります。スキーは、今シーズンから約40年ぶりに始めました。ペンションでの個人的なオーナー、地元産農産物を食材とした料理との出逢いもリフレッシュできます。五味池破風高原自然園、国指定名勝・日本の滝百選の米子瀑布群は、さわやか信州そのものです。

## 「鶴瓶の家族に乾杯」のような出逢い

本市は地域資源は豊富ですが、著名な観



6月28日まで開催 千体の雑祭り

光地ではありません。須坂市観光協会は、それぞれの地域ごとの特色ある郷土食などの暮らし自体が観光であるということ、で「暮らし観光」をコンセプトにしています。一言で言えば、NHKテレビの「鶴瓶の家族に乾杯」のような出逢いの地域を目指しています。私は、自称「日本一の巨大迷路のまち須坂」を散策することが好きです。最近では、若者が古民家を活用したおしゃれなレストラン、パン屋さん、写真店などを開店しており、自分の楽しみがてら施策のヒントを得ています。

散策から学ぶことは、本市外でも同様です。何気ないものを生かしていたり、懸命に生きている方にお逢いすることが楽しく、学びになります。

## 政策も出逢い

「幸運の女神は準備を整えた者に微笑みかける（L・パストール）」の言葉を、尊敬

する大学教授から教えてもらいました。重要度と緊急度のマトリックスで施策を考えています。例えば、重要度と緊急度の高い令和元年東日本台風の場合には、国土交通省、自衛隊、機動警備隊、農林水産省、気象庁、長野県庁、他自治体などの全面的支援を積極的にお願いしました。重要度は高いが緊急度が低い案件、例えば、須坂駅前の商業ビルの再生は、パートナー、財源、手法、時期などを熟慮してきました。その結果、地元のIT企業の(株)Coolight（グーライト）と本年度から取り組みます。これも県内外のさまざまな旧商業ビルとの出逢いから学びました。

## よき出逢いからの選挙とモットー

私の場合、地元地区、小中高校の同級生、長野県庁退職者、祖父母・両親の知人、いわゆる「出逢い」が縁の方から支援を頂戴し、立候補しました。「縁もゆかりもある」方々の支援です。ただ、私の場合とてもありがたいのは、真の支援者は「須坂市をよくするために三木を支援する。三木より須坂市のためになる人がいればそちらを支援する」という方々です。一切、私益を求めています。1期目の当選後、「自分が当選をさせた」という方がいましたが、一切、そのような方の要望は聞きませんでした。その結果、攻撃を受けることもありませんが、「お天道さまは見てる」支援者は見て



須坂が誇るフルーツはふるさと納税でも大人気!

る「支援者は支援している」という気持ちで行っていますので、気持ちは楽です。「邪なし」は、ストレスがたまりません。

「求める」から「分かち合い（愛）、譲り合い（愛）、与え合い（愛）」「自利利他円満」を市政のモットーにしていますが、これも支援者の心を反映したものです。

石川県の中学校女子バレー部監督とお会いした時に「市長、どのような人になりたい？」と質問を受けました。私は「誠実な人」と回答しました。監督の答えは「違う。もう一度逢いたい人」でした。もう一度逢いたい人、自然、地域に恵まれたことに感謝しています。